

平成 30 年 11 月 12 日

浜田市議会議長 川神 裕司 様

議員名 西川 真午



調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため(視察・**研修**)を(実施・**受講**)したので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 平成 30 年 11 月 5 日 (月) 11:30 から
平成 30 年 11 月 6 日 (火) 15:00 まで
2. 視察・研修内容 議会改革を考える
～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～
3. 視察先又は研修先 全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)
4. 調査経費 26,378 円
(経費内訳 研修費 7,300 円、振込手数料 540 円
交通費 高速バス 11,200 円
JR 往路 320 円
JR 復路 240 円
ガソリン代 1,378 円
宿泊費 5,400 円)
5. 調査研究活動の概要
(1) 講義
 - ・テーマ: 地方自治の現状と議会改革の動向
 - ・講師: 早稲田大学 名誉教授 北川 正恭



(2) 講義

- ・テーマ：「議会改革度調査」から見る地方議会
- ・講師：早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健

(3) 事例紹介・演習

- ・テーマ：住民参加・情報公開を進める取り組み①
- ・講師：栗山町議会 議長 鶴川 和彦
早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健

(4) 事例紹介・演習

- ・テーマ：住民参加・情報公開を進める取り組み②
- ・講師：会津若松市議会 議長 目黒 章三郎
早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健

(5) 演習

- ・テーマ：各議会における今後の議会改革推進の検討
- ・講師：早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健

6. 所 感

早稲田大学名誉教授の北川先生の講義では、これまでの日本政治における中央集権から地方分権への流れ中での、地方議会に求められる機能の変遷について学び、地方創生時代の現在は議会の政策立案機能が重要であり、議長を中心に議会事務局をまとめて、議会としての目標を持って進める必要性を感じた。日本で初めて議会基本条例を制定した北海道栗山町の鶴川議長からは、議会改革の先進事例として議会モニター制度や一般会議の取組等について講義を受け、住民参加、情報公開について学んだ。会津若松市議会の目黒議長からは、市民の声を市への政策提言に結び付ける「政策サイクル」について、その手法や成果、今後の課題について説明を受けた。会津若松市議会では議会を身近に感じ活用してもらうために、議会の活動や市民参加の方法などを分かりやすくまとめた「手引書」を全戸に配布している。演習では「議会だよりをどのように改善すればよいのか」をテーマに、他市町の議員とのグループでダイアログを行い、参考になる貴重な意見を聞くことができた。今回の研修の内容を、今後の浜田市議会の議会改革調査検討特別委員会の中で活かし、浜田市議会の議会改革の発展に貢献していきたい。